

## まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

個別施策	具体的事業	事業目的・内容／取組実績	KPI
<p>女性の就業 支援強化</p>	<p>男女共同参画推進事業</p> <p>■H27 予算額 1,972,000 円</p>	<p>【事業目的・内容】</p> <p>「男女共同参画社会」の実現のため、男女共同参画啓発講演会や各種イベント、女性人材育成事業等を実施し、男女共同参画に関する理解や認識を深める。</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻市男女共同参画基本計画（第2次）の進行管理</li> <li>・市民及び市職員への啓発促進（講演会、セミナー等の開催）</li> <li>・女性人材育成事業の実施（女性の能力向上を図るためのセミナー等）</li> <li>・暴力被害者に対する支援の実施</li> </ul>	<p>女性人材リスト登録者数 170人</p>

## まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

個別施策	具体的事業	事業目的・内容／取組実績	KPI
<p>夫婦共働きを前提とした就業環境の整備や子育て支援</p>	<p>子育てパパ育成事業</p> <p>■H27 予算額 300,000 円</p>	<p>【事業目的・内容】</p> <p>育児に対する男性の意識改革を図り、母親の育児負担を軽減するため、助産師会及び助産学校と連携して、父親の育児参加の必要性を啓発するもの。また、また、これまで育児参加が進まなかった男性（父親）をターゲットとすることで、社会全体で仕事、家事、育児等を両立させる意識を醸成するとともに、女性の社会進出や企業の女性人材確保にも取り組む。</p> <p>【取組実績】</p> <p>○「イクメン講習会：備えあれば憂いなし～石巻のPAPA 活性化～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦体験／8kgのジャケット着用</li> <li>・赤ちゃん抱っこ、オムツ交換体験</li> <li>・お産の寸劇（立ち合い分娩）</li> </ul> <p>○対象者：企業、市役所、一般募集</p>	<p>市民意識調査における「育児や家事の役割」について「夫婦同様」との回答割合50%以上</p>

## まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

個別施策	具体的事業	事業目的・内容／取組実績	KPI
夫婦共働きを前提とした就業環境の整備や子育て支援	子育てパパ育成事業  ■H27 予算額 300,000 円	<p>【事業目的・内容】</p> <p>育児に対する男性の意識改革を図り、母親の育児負担を軽減するため、助産師会及び助産学校と連携して、父親の育児参加の必要性を啓発するもの。また、また、これまで育児参加が進まなかった男性（父親）をターゲットとすることで、社会全体で仕事、家事、育児等を両立させる意識を醸成するとともに、女性の社会進出や企業の女性人材確保にも取り組む。</p> <p>【取組実績】</p> <p>○「イクメン講習会：備えあれば憂いなし～石巻のPAPA 活性化～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦体験／8kgのジャケット着用</li> <li>・赤ちゃん抱っこ、オムツ交換体験</li> <li>・お産の寸劇（立ち合い分娩）</li> </ul> <p>○対象者：企業、市役所、一般募集</p>	子育てサポート企業認定数 3 件
	親になるための教育事業  ■H27 予算額 700,000 円	<p>【事業目的・内容】</p> <p>中学生を対象とした父親・母親の疑似体験を行うことにより、妊産婦への思いやりを育み、命の大切さ、妊娠・出産の正しい知識を習得させ、子供を産み育てることの意義や自分の将来像(結婚→妊娠→出産→育児)のイメージを抱かせるよう啓発する。また、育児中の母親も参加させることで、社会との接点を持たせるとともに、生徒が本物の乳幼児を身近に感じることで、より質の高い体験学習とする。少子化により家族の中で育児に触れ合う機会が少ない思春期の中学生を対象とし、社会全体で出産や育児を支える環境を目指す。</p> <p>【取組実績】</p> <p>○「講義：いのちをはぐくむ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦体験／8kgのジャケット着用</li> <li>・赤ちゃん抱っこ体験</li> <li>・本物の乳幼児とのふれあい</li> </ul>	

# 助産師による産前産後「心とからだのトータルケア」推進事業

目的: 少子化対策の一環として、妊娠期から子育て期にわたり、切れ目なく専門職である助産師のケアを受けることで、安心して産前産後をすごし、子育てできるように支援する。  
「宮城県助産師会」へ委託

## 1 <心とからだのトータルケア推進事業> 28年度 52回実施予定

○会場: 子育て支援センター等

○内容: 講話や参加者同士の交流

妊婦 対象

8回予定

<内容>

- ・出産準備について
- ・沐浴の仕方等育児
- ・産後のケアについて  
(乳房ケア、心のケア)



祖父母 対象

6回予定

<内容>

- 今どきの出産、子育て  
孫育て講座



乳児と保護者対象  
26回予定

<内容>

- ・ベビーマッサージ
- ・こころとからだの相談
- ・交流



妊産婦対象サロン  
12回予定

<内容>

- ・参加者の交流や質疑

## 2 <妊産婦相談>

28年度 48回実施予定(毎週火曜日・祝日除く)

○会場: 石巻市役所授乳室

○内容: 個別相談

対象: 妊産婦とその家族

<相談内容>

- ・母乳栄養について
- ・マッサージや乳房ケア
- ・断乳の仕方
- ・出産準備について(分娩の進み方、母乳育児の準備 等)
- ・赤ちゃんの体重の増えや育児のしかた 等



## 地域子育て支援拠点事業

### 目 的

家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実に図り、もって子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。

### 【基本事業】

- (1) 子育て親子が気軽かつ自由に利用できる場の提供
- (2) 子育てに不安、悩み等を持つ子育て親子に対する相談及び援助の実施
- (3) 子育て親子が必要とする身近な地域の子育て支援に関する情報の提供
- (4) 子育て親子等を対象とした月1回以上の子育て支援に関する講習会等の実施

### 【市が基本事業に加えて実施できる事業】

- (1) これから育児を始める家庭に対する相談指導、各種情報の提供、援助の調整等
- (2) 育児サークル及び育児ボランティアの育成及び支援
- (3) 地域の保育の特性に応じた特別保育事業の実施に係る保育所間の連携の調整等

### 【委託事業者等が基本事業に加えて実施できる事業】

- (1) 地域の子育て拠点としての子育て支援活動の展開を図る事業
- (2) 出張ひろば事業
- (3) 地域支援として実施する事業

### 【地域子育て支援拠点事業一覧表】

#### (1) 直営事業（7か所）

No.	名 称	地区	運営方法	開設日	担当部課
1	石巻市子育て支援センター事業	石巻	直営	週5日	福祉部子育て支援課
2	石巻市河北子育て支援センター事業	河北	直営	週5日	河北)保健福祉課
3	石巻市河南子育て支援センター事業	河南	直営	週5日	河南)保健福祉課
4	石巻市桃生子育て支援センター事業	桃生	直営	週5日	桃生)保健福祉課
5	石巻市北上子育て支援センター事業	北上	直営	週5日	北上)保健福祉課
6	雄勝地区子育て支援事業	雄勝	直営	週5日	雄勝)保健福祉課
7	牡鹿地区子育て支援事業	牡鹿	直営	月2日	牡鹿)保健福祉課

#### (2) 委託事業（3か所）

No.	名 称	地区	運営方法	開設日	担当部課
1	地域子育て支援拠点事業（なかよし保育園）	石巻	委託	6・7型	福祉部子育て支援課
2	地域子育て支援拠点事業（パピスマイル石巻）	石巻	委託	5日型	福祉部子育て支援課
3	地域子育て支援拠点事業（にじいろクレヨン）	石巻	委託	3・4型	福祉部子育て支援課

## No. 57

- 具体的な施策:「子ども子育て支援新制度」の円滑かつ持続的な実施等
- 重要行政評価指標(KPI):保育施設待機児童数 0人 (H27.11調査時84人)

### 「子ども子育て支援新制度」

すべての子どもに良質な育成環境を保障し一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目的に子育てをめぐる現状と課題に取り組みますが、その中で市町村が幼児期の学校教育・保育、子育て支援のニーズを把握して認定こども園・幼稚園・保育所などの整備を計画的に進めることとしています。

### ～主な具体的事業～

#### ○民間保育所助成事業

民間保育所建設補助による施設建設の推進、民間保育所運営費助成等の施策等により、民間活力の活用を図り、保育の受皿を拡大し、子育て世代のニーズの高い保育所の待機児童の解消を図ります。

### 〔民間保育所開設等の促進〕

区別	平成27年度開設	定員
公立	認定こども園 1か所	110名増
民間	小規模保育事業所 4か所	64名増
区別	平成28年度予定	定員
民間	認可保育所 2か所 小規模保育事業所 3か所	150名増 57名増
区別	平成29年度予定	定員
公立	災害復旧保育所 3か所	150名増
民間	認可保育所 2か所 小規模保育事業所 3か所 事業所内保育所 1カ所	157名増 57名増 19名増

## No. 58

- 具体的な施策:「子ども子育て支援新制度」の円滑かつ持続的な実施等
- 重要行政評価指標(KPI):放課後児童クラブ待機児童数 0人 (H27.11調査時112人)

### 「子ども子育て支援新制度」

すべての子どもに良質な育成環境を保障し一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目的に子育てをめぐる現状と課題に取り組みますが、その中で市町村が学校教育・保育、子育て支援のニーズを把握して放課後児童クラブなどの整備を計画的に進めることとしています。新制度により放課後児童クラブの対象児童は小学4年生から6年まで拡大されました。

### ～主な具体的事業～

#### ○放課後児童クラブ施設整備事業

放課後児童クラブの待機児童解消のため、施設の建設整備等を推進する。

平成27年度 整備施設	定員
稲井地区第三放課後児童クラブ	40名
蛇田地区第三放課後児童クラブ	50名
蛇田地区第四放課後児童クラブ	50名
中里地区第二放課後児童クラブ	50名
万石浦地区第三放課後児童クラブ	50名
住吉地区第二放課後児童クラブ	40名
鹿又地区第二放課後児童クラブ	50名
桃生地区第二放課後児童クラブ	40名

平成28年度 整備施設	定員
鹿妻地区第三放課後児童クラブ	50名
貞山地区放課後児童クラブ	50名
前谷地地区放課後児童クラブ	50名
須江地区第一放課後児童クラブ	50名
須江地区第二放課後児童クラブ	50名

# 石巻市子どもの未来づくり事業(第Ⅱ期)

ねらい

児童生徒に夢や希望をもたせ、未来を生き抜く力を身に付けさせるために、教員の指導力の向上、児童生徒の学習習慣の形成、志を高める取組の視点から、推進地区ごとに小中学校が連携して実践する。

課題・背景

震災後の児童生徒が自らの志を強くもって未来を生き抜く力が必要  
 児童生徒に確かな学力を身に付けさせるための教員の指導力の向上が必要  
 学校と家庭の連携による児童生徒の家庭学習の習慣化が必要  
 異校種間の連携による一貫した指導が必要



未来を生き抜く力  
【確かな学力】

\*「未来を生き抜く力」は、知・徳・体のバランスのとれた力のことですが、本事業では特に「確かな学力」(知)の育成に重点を置きます。また、「生き抜く」としたことで、より能動的・自立的な意味をもたせました。

小中連携による推進

教員の指導力の向上

石巻市立学校教職員スタンダード

児童生徒の学習習慣の育成

5つのトライ! い・し・の・ま・き

志を高める取組



学習指導の改善を図る研修会

- 学ぶ土台となる学級づくり
  - 児童生徒同士の間関係づくり
  - 教師と児童生徒との信頼関係づくり
  - 教師の児童生徒理解
- (推進モデル校: 万石浦小学校 万石浦中学校)



子どもの未来づくり推進委員会

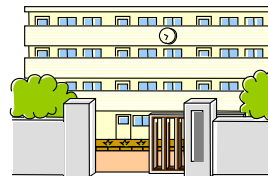


- ①学力調査結果の分析等に基づき、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成の在り方等について検討
- ②学力向上フォーラムの実施
- ③家庭学習・生活習慣リーフレットの内容・活用状況検証
- ④学力向上推進地区・実践校の取組状況や成果の検証
- ⑤志を強くもって生き抜くための具体的な方策の検討

報告

検証・助言

子どもの未来づくり推進地区(推進実践校)



※校長会が主体となって推進

- ①学力向上のため、学校と家庭との連携や家庭学習習慣形成等の実践研究の実施
- ②地区内での情報共有や共同実践の工夫
- ③実践成果発表会での情報発信

◆平成28年度志教育支援事業推進地区(県指定)  
青葉中学校区、桜坂高等学校

期待できる成果

- ①児童生徒が志をもって未来を生き抜こうとする意欲を高めることができる。
- ②教員の指導力の向上を図ることができる。
- ③未来の夢の実現のために、現在の学習や生活の改善及び充実を図ることができる。



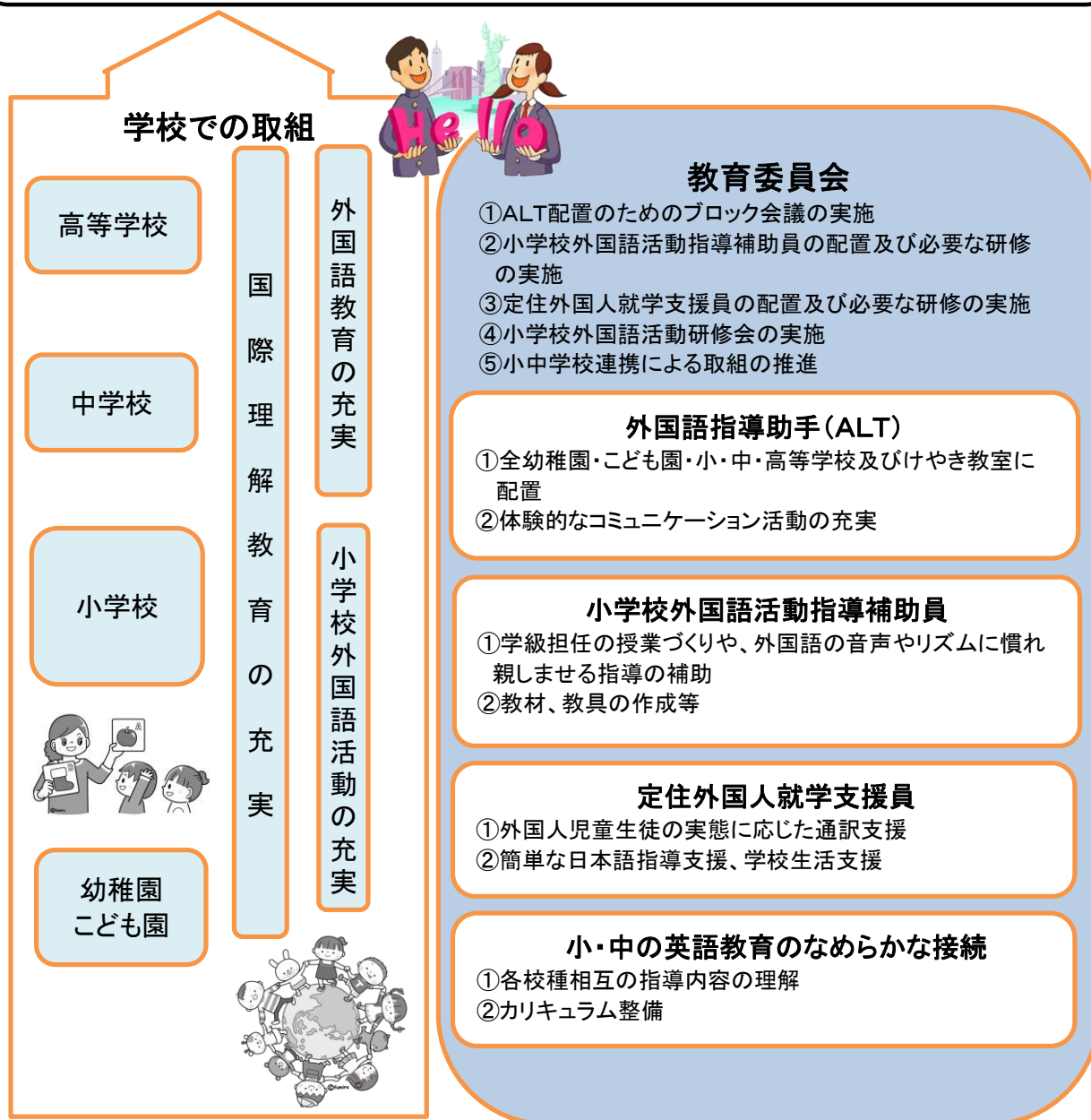
# 外国語教育・国際理解教育の推進

ねらい

グローバル化に対応した新たな英語教育を見据え、外国語に対する興味・関心を高め、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、異文化を受容し、共生する態度・能力の育成を図る。

課題・背景

小中学校教員、中学校高等学校教員の連携による発達段階に応じた継続的な指導が効果的  
小学校外国語活動の一層の充実のために、指導計画の改善や指導力向上のための研修が必要  
日本語が話せない外国人児童生徒の学習活動及び生活指導等における教員の補助が必要  
諸外国の生活や文化などに興味・関心を高めるため、ALTなどの外国人との交流が効果的

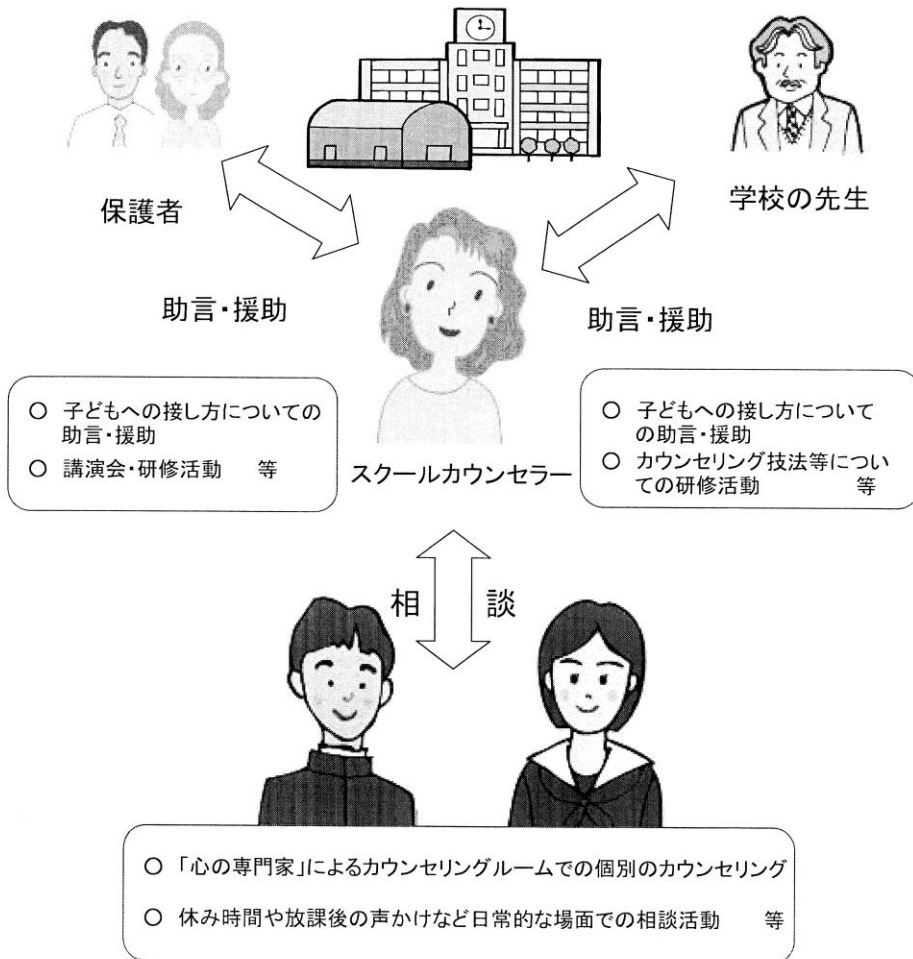


期待できる成果

- ① 児童生徒等への継続的な外国語指導を行うことにより、発達段階に応じたコミュニケーション能力の向上が図られる。
- ② ALTや指導補助員等との活動を通して、外国語教育及び国際理解教育の一層の充実が図られる。
- ③ 外国人の児童生徒が、安心して日本で学校生活を送るための支援が期待できる。

# スクールカウンセラー活用事業

学校のカウンセリング機能の充実を図るため、都道府県等が行う、臨床心理士など「心の専門家」であるスクールカウンセラーの活用に関する事業です。



# スクールソーシャルワーカー(SSW)活用事業

- 問題行動等の背景には、児童生徒が置かれた様々な環境の問題が複雑に絡み合っている。そのため、
  - ① 関係機関等と連携・調整するコーディネーター
  - ② 児童生徒が置かれた環境の問題(家庭、友人関係等)に働き掛けること等が求められている。

